

保育所等の定員・申込者の状況等の公表に関する知事コメント

令和6年4月1日時点の待機児童数（速報値）は256人となり、前年と比べて15人増加しました。

県内の保育所等の定員は124,692人と、利用申込者数119,118人を上回る規模で整備が進んでいますが、引き続き待機児童が発生している状況です。

地域によって偏りがあるものの、都市部を中心に保育需要が増加したことが影響しているものと考えられます。

今後、地域の保育事情を見極めつつ、市町や保育関係者と連携しながら早期の待機児童の解消に努めるとともに、待機児童の約9割を占める1・2歳児の速やかな受入れに繋がる小規模保育所の拡充などの検討を進めていきます。

保育人材の確保と定着も重要な課題です。保育士就職フェアの複数開催や、「保育士・保育所支援センター」を活用した再就職支援、処遇改善につながるキャリアアップ研修などにも取り組みます。

兵庫県では、子どもを産み、育てやすい兵庫の実現を目指した施策の充実強化への取り組みを進めています。

持続的な社会の原動力となるのは、未来を担う子どもたちにほかなりません。子どもたち一人ひとりが輝き、個の力がみなぎる兵庫を創っていくため、全力を尽くしてまいります。

令和6年5月30日

兵庫県知事 齋藤元彦